

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年7月5日(2018.7.5)

【公開番号】特開2017-42669(P2017-42669A)

【公開日】平成29年3月2日(2017.3.2)

【年通号数】公開・登録公報2017-009

【出願番号】特願2016-237801(P2016-237801)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 4 B

A 6 3 F 7/02 3 2 4 E

【手続補正書】

【提出日】平成30年5月15日(2018.5.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球を払出装置に向けて案内する誘導樋を備え、

前記誘導樋は、複数の遊技球を 1 列に並べて流下させる 1 列構造をなすと共に、遊技機の横方向に湾曲して延び、

前記誘導樋のうち、鉛直方向に延びて前記払出装置に連通する連通部に上流側から連絡し、遊技機の横方向に直線状に延びる横直線部と、その横直線部の上流側に連絡し、鉛直方向に延びて前記横直線部より長い縦直線部と、を有し、

前記縦直線部から前記横直線部にかかる屈曲部分を、前記誘導樋の他の屈曲部分より遊技球の流下速度を減速可能な減速用屈曲部とした、ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記目的を達成するためになされた請求項 1 の発明は、遊技球を払出装置に向けて案内する誘導樋を備え、前記誘導樋は、複数の遊技球を 1 列に並べて流下させる 1 列構造をなすと共に、遊技機の横方向に湾曲して延びて前記誘導樋のうち、鉛直方向に延び、前記払出装置に連通する連通部に上流側から連絡し、遊技機の横方向に直線状に延びる横直線部と、その横直線部の上流側に連絡し、鉛直方向に延びて前記横直線部より長い縦直線部と、を有し、前記縦直線部から前記横直線部にかかる屈曲部分を、前記誘導樋の他の屈曲部分より遊技球の流下速度を減速可能な減速用屈曲部とした遊技機である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

請求項１の遊技機によれば、誘導樋全体が従来の角柱構造のものに比べて前後方向で薄くなり、誘導樋以外の部品の大型化に伴う遊技機の前後方向の厚さの増加を抑えることが可能になる。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】削除

【補正の内容】